

2008年度 VERAプログラム小委員会報告

関戸 衛(NICT)

藤沢健太(山口大学)

観測の公募

- 世界に公開した共同利用観測の公募
- 周波数=22GHzのみ提案可能
- 2ビームの観測=提案可能
- 観測局の利用形態は2通り可能
 - VERAのみ
 - VERA+NRO45m+NICT34m
- 目標観測割当時間=400時間

プログラム小委員会の概要

- 小委員会の開催
 - 開催日 2008年2月27日 14時～16時30分
 - 場所 国立天文台三鷹キャンパス
 - 議事 2008年のVERA共同利用
 - 委員会構成員
 - 台内
 - 郷田直輝、本間希樹、久野成夫(野辺山45m代表)
 - (台外
 - 近藤哲朗(情報通信研究機構、鹿島34m代表)、藤沢健太(山口大学;委員長)
 - ex-officio
 - 小林秀行(VERA観測所長)、柴田克典(VERA観測所)
 - 欠席
 - 中井直正(筑波大学)

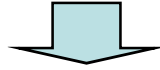
応募状況、審査の概要

- 総数16件 国内・国外を含む
- 総要求時間 894.5時間
- 審査・論点
 - 科学的意義
 - ほぼ全てのプロポーザルについて、科学的意義は高く評価
 - 議論
 - 技術的・感度的な問題による観測の不可能性
 - VERA観測所が実施すべき提案をどうすべきか
 - プロジェクト天体(観測中)の観測提案の取り扱い

観測時間・割り当て

提案

- 観測件数 : 16件
- 総時間数 : 894.5時間



採択

- 観測件数 : 9件
- 総時間数 : 431.5時間

考察

- 国内外の様々な研究機関から提案があった
- 提案内容も、AGN／マイクロクエーサー／YSO／晩期型星／GRBなど多岐に渡る
- 適当な倍率・観測時間と考えられる

No.	Proposal Title	提案者	所属	観測時間	
				VERAのみ	VERA+NiCT
1	Study of the Kinematically Peculiar Star Z Cyg 運動学的に特異な星Z Cygの研究	S. Deguchi	国立天文台	-	40 (10x4)
6	X線連星LSI+61° 303の軌道決定による主星の正体解明-2	本間希樹	国立天文台	42 (7x6)	-
2	AGN Core Wander and the Stability of the Celestial Reference Frame	K. Johnston	U.S. Naval Observatory	37.5 (7.5x5)	-
11	Studying the Nature of the Massive Young Star S140 IRS1	Hsu-Tai Lee	Institute of Astronomy and Astrophysics, Academia Sinica	80 (10x8)	-
3	Distances to Galactic Water Masers	Kazi L.J. Rygl	MPIFR	72 (9x8)	-
5	A Trigonometric Parallax for the Luminous Supergiant AH Sco	Bo Zhang	Astronomy Department, Nanjing University	24 (6x4)	-
4	Astrometry of Flaring Microquasar Cygnus X-3	Soon-Wook Kim	Korea Astronomy and Space Science Institute	48 (8x6)	-
8	相対VLBI観測による半規則型変光星VX Sgr星周の質量放出メカニズムの解明	R. Kamohara	国立天文台	40 (8x5)	-
16	Monitoring Binary Black Hole Candidates with Twin Jets	Seiji Kameno	Kagoshima University	48 (24x2)	-
合計時間				391.5	40

VERAホームページで公開